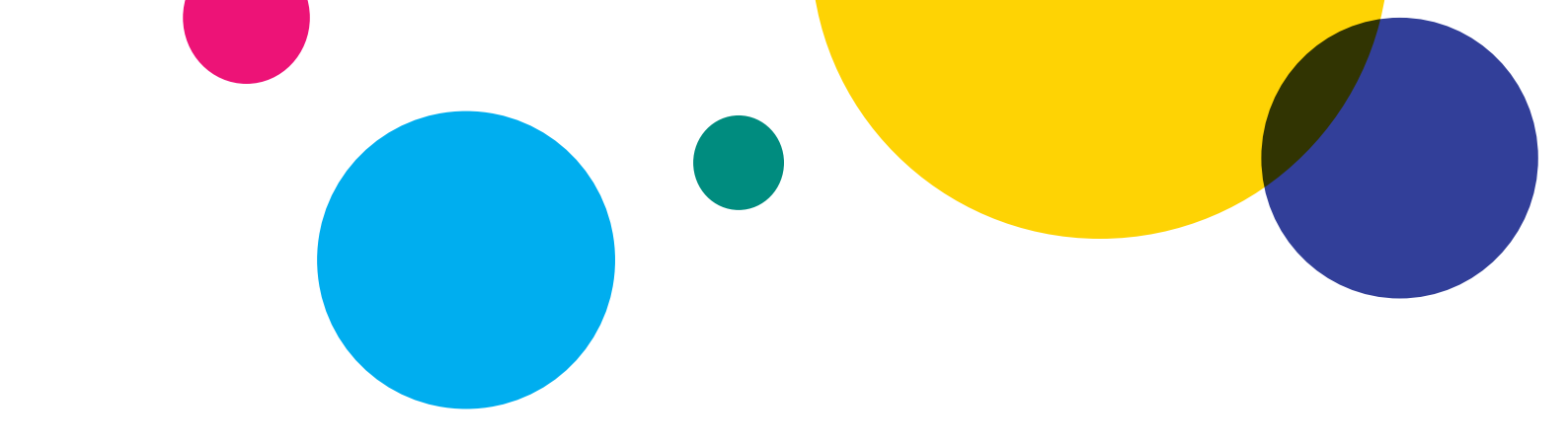




Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア

第8号

2024年4月発行

グループホーム
ここさいむら青葉

横江 和之

2012年10月に中途採用で入社した横江和之。異業種からの転職だったが、長年介護職員として従事し、ゲストの良き相談相手として信頼を得ている。日々どのような思いで業務に取り組んでいるのだろうか。仕事を行ううえで心がけや、仕事のやりがいなどを聞き、働きぶりに迫る。

困っている人の助けに

前職は、製造業で工場勤務をしていた。しかし、2011年に発生した東日本大震災により、勤めていた工場が崩壊して稼働停止となり、転職を余儀なくされた。

転職活動をはじめるとあたり、自宅のある女川町から通える企業を探すことにした。それは、東日本大震災の数年前、子どもが小学校に進学したのをきっかけに、もともと住んでいた仙台市から地元である女川町に移転。再び親の都合で転校させたくないという思いがあったからだ。

しかし、東日本大震災の影響で求人が少なく、就職先がなかなか見つからない。そのような状況の中で出会ったのが、石巻市に新しい施設ができるために社員を募集していた、株式会社こみケアだった。「困っている人の手助けができれば良いな」と考え、入社

を決断。入社以来、グループホームここさいむら青葉で10年以上、介護職員として従事している。

感謝の言葉がモチベーション

仕事でやりがいを感じるのは、ゲストに「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらったときだという横江。ゲストと接する際は、相手の話に耳を傾けるよう意識している。ときには夜間、不安にかられて眠れないご利用者様の話を2時間も聞くことがある。そのような際にも、最後に「長い話を聞いてくれて、ありがとう」と言われると、疲れも吹き飛んでしまうという。

共感とコミュニケーション

横江には、働くうえで心がけていることが2点ある。1点目は、ゲストの話に共感すること。どのような話にも否定をせず寄り添うことで、信頼を得ている。また、言葉遣いにも気を付け、断定的な言い方はしない。

そして2点目は、一緒に働く仲間とのコミュニケーションだ。「仕事は一人ではできない」と考えているため、周囲との情報共有や連携を大切に

ている。

「難しいことや辛いことをしているわけではありません。助けを必要としている方に対して、自分ができる範囲でサポートできれば良いなという気持ちで、日々仕事に取り組んでいます」。

信頼が最も大事

目標は、これからもゲストに信頼される人材であり続けること。そのためにも、常にゲストに寄り添い、満足していただけるような対応をしていくつもりだ。

常に丁寧な仕事ぶりで、ゲストや同僚から頼りにされている横江。「困っている人の手助けをしたい」という介護職に就いた当初の思いを胸に、これからも成長を続けていく。



横江和之さんへのメッセージ

心優しい横江さんは、皆の良き相談相手だそうです。今回はそんな横江さんのさらなる魅力をお二人の方にお聞きしました！

Q1. 横江さんを一言で表すと？

親切で心優しい

Q2. 横江さんの「すごいところ」を教えてください！

いつも穏やかで怒っているところを見たことがありません。とても優しく、後輩が困っていると自分の時間を割いて付き合ってくれます。皆の良き相談相手であり、理解者。一見シャイそうに見えますが、相手の心を開くのが上手です。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

私が入社間もない頃、行き詰ったときに、どのようなことを相談しても「うんうん」と話を聞いてくれて、自分で考えて答えを見つけられるように導いてくれました。その上で「気にしなくてもいいよ」と心が軽くなるアドバイスをくれたこと、感謝しています。



グループホーム
ここさいむら青葉
管理者／係長代理
あべくみこ
阿部 久美子さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつもありがとうございます。グループホーム青葉のキャストの仲が良いのは、横江さんが皆の話を聞いて、精神安定剤になっているからだと思います。皆が働きやすい職場づくりのために、これからも力を貸していただければと思います。

Q1. 横江さんを一言で表すと？

The やさしさ！

Q2. 横江さんの「すごいところ」を教えてください！

ゲストが何度同じ質問をしようと笑顔で答え、すぐにお答えすることが難しいご要望に対しても誠実に、機転を利かせた対応ができるところが素晴らしいと思います！

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

夕食直前に「トイレ（に行きたい）」と訴える膀胱留置カテーテルをされているゲストに対し、「後から確認しましょう」ではなく、すぐに居室に戻って確認していました。ゲストを安心させているところを見て、嬉しく思いました！



グループホーム
ここさいむら青葉
管理者／係長
やまだ だい
山田 大さん

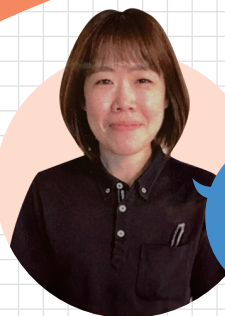
Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

ゲストに対してだけではなく、キャストにも優しい横江さん。事業所開設から頑張る横江さん。これからも皆の良き相談相手として、頼れる兄貴として健康第一で活躍してください！

～ここさいむら泉編～

私の事業所の紹介

田園に立地し、四季折々の景色が楽しめる通所介護施設「ここさいむら泉」。
丁寧で親切なサービスだとゲストから好評価を得ていますが、その秘密とは……？
計画中の新たな企画についても伺いました。



私が紹介
します！

ここさいむら泉
管理者／係長代理
さがわ ともえ
佐川 智恵さん

01 「ここさいむら泉」って こんなところ！

**四季の彩りが楽しめる立地。
思わぬ来訪者も……！**

通所介護施設として、入浴などの生活支援、機能訓練、レクリエーションの実施、相談対応を行っています。キャストは管理者の私と、生活相談員2名、機能訓練員3名、ドライバー3名、看護師1名、介護職員5名の総勢15名。

田んぼの中に立地しており、すぐわきには竹林が広がり、七北田川が流れています。竹林の反対側には庭があり、2023年にはキジがつがいで見れたことも。春になると木々や芝生の緑で彩られ、梅や桜の花が咲き乱れます。「杜の都仙台」と言われるだけあって、春夏秋冬の自然が楽しめる環境です。



02 ココが自慢！

**お互いを助け合い、
情熱をもって仕事に取り組むキャストたち**

自分の役割にこだわらず、複数の業務を兼任しているキャストが多いのが自慢です！忙しく困っているキャストがいたら、他のキャストがすぐにかけつけ、フォローしています。情熱を持って仕事に取り組むキャストたちのおかげで、既存のゲストや、体験して通所を決めたゲストからは、「この施設の方は本当に丁寧で親切」というお声を頂戴しています。



03 「他の事業所に負けなし!!」 魅力

洞察力がピカイチのキャスト

キャストの洞察力が優れていることです！皆さんゲスト一人ひとりをよく見ており、体調の変化にすぐ気づきます。例えばゲストが鼻声だった、投げかけた声に対して返答が少なかったり元気がなかったりした、ゲスト同士の会話で体調が悪いと言っていたなど。そうした話を私にすぐ報告してくれるので、私からご本人に直接お話を伺って、早期に体調不良を発見できています。ゲストからも「よく見ているね」と非常に喜ばれ、丁寧で親切という評価につながっています。

04 今後の目標

**より良い施設に向けて、
新たにお出かけ企画を計画中！**

「ここさいむら泉に来てよかった」「第二の我が家のように安心して過ごせる」とゲストに思ってもらえる施設にすることです！その一歩として今考えているのが、お出かけ企画。これは日頃の機能訓練の成果を発揮する場面ではありますが、ゲストの中には外出したいけど「転んだらどうしよう」と外に出歩くことに不安な方や、「買いたいものがあるけど家族が忙しそうで頼めない」といった声が多く聞かれます。そういったゲストと一緒にキャスト付き添いのものと出掛けて、買いたいものを自分で買いに行くということを実現し、生きがいや生活への自信に繋がれば良いと考えています。



05 一緒に働く 皆さんへのメッセージ

管理者になり不慣れな所も多いなか、皆様にはたくさんフォローしていただき感謝しております。これからも皆で「笑顔で話し合い・助け合える・感じ合える」～誰にとっても居心地の良い場所ここさいむら泉～を一緒に作っていきましょう！

2024年2月

笑顔を創る

賞賛・承認大作戦

通信
vol.15

2月度 月間MVP

皆さんの投稿・投票からキャストを称えるこの企画。今回は、なかなか受け入れてく
ださらないゲストと心を通わせ、ついに来所に至った経緯と様子を紹介します。決
して無理強いせず、ゲストに根気強く寄り添う姿勢をご覧ください！



初回の訪問より、玄関に入れていただけないゲスト様。

訪問を繰り返し、徐々に信頼関係を築くことができ、二ヶ月間口説きに口説き、ようやく
来所して頂くことができました。

短い時間でしたが、入浴をされ、キャストと一緒に昼食を食べ、『いがったや〜』と笑顔で
帰られました。

今後も少しずつ来所して頂けるよう、支援していきたいと思います。

投稿者



小規模多機能ここさいむら
美の里

まつもと よしこ

松本 美子さん

投稿日: 2023. 2. 15

松本さんに投稿内容について詳しく教えてもらいました！

ゲストと心を通わせるまでの経緯や工夫点、感想を教えてください！

来所までの経緯

訪問対応のゲストで、受け入れてもらうまでかなり時間がかかり
ました。自宅にお邪魔しても何もさせてもらえず、話すだけで
帰った日もあります。来所を勧めても「行かない」の一点張り。
しかし通い始めて2〜3か月経ち、「膝が痛いから湿布を貼りたい
」とおっしゃるため、「お風呂に入って膝を温めてから貼ったほ

うが効くんじゃない？」と今野さんが勧めたところ、その気にな
ってついに初来所。入浴後に「お昼ご飯を一緒に食べたら」と
誘い、休憩室で今野さんと食事をされました。その様子が微笑
ましく、とても良い表情をされていたため思わずシャッターを押
しました。

接する際の工夫

そのゲストにとって、私たちが訪問するときだけが誰かと会話
する機会でした。それ以外の時間は1人で、黙ってテレビを見る
か、ご飯を食べているか。しかも本当に食べたかどうか把握
できません。そこでなんとか支援に繋がりたいという思いで、週に
2回、話し相手になれるよう休まず通いました。「もう来なくて
いいよ」と言われないようにするため、管理者である庄司さんか
らも、「話すだけでも良い」「とりあえず顔を覚えてもらおう」と
言われました。ときには「今日は遊びに来たよー」という気楽な
気持ちで伺ったものです。通い続けた結果、今では私たちの顔
を見ただけで鍵を開け、「〇〇を食べたい」としてくれるよう
になり、調理支援をできるまでになりました。

来所されたときの感想

「本当によく来たねー！」という、とても嬉しい思いでした。昼食
は予定外だったため用意しておらず、ある食材をかき集めて見
栄え良く整えて提供。ほかのキャストたちにも紹介できて、とて
も良い機会になりました。その後も2回ほど来所されています。
今後は他のゲストの交流などに繋がっていきたいと思います。



一緒に働く皆さんへ メッセージ

受け入れてもらえず、めげそうになったこともあり
ました。しかし、私が行かないと、そのゲストは誰
も話す人がいません。だからこそ行くしかないので
す。難しい方であっても、めげずに根気強く接す
ることが大事、覚えてもらえればなんとなかな
はずです。一緒に頑張りましょう。





私たちががんばっています！ 外国籍キャストの成長記録

言葉も文化も異なる日本で頑張る2人の外国籍キャストの成長記録をレポート！日本へ来たきっかけや入社の決め手、仕事になれるまでの苦労など、それぞれの直属の上司からのメッセージとともにご紹介します。



グループホーム
ここさいむら小田原
ルスタンティさん
入社年月：2021年10月

入社した経緯 人と関わる仕事を経験したかった

昔から日本に興味があり、日本で働きたいと思っていました。最初に働いていたのは、建設業界です。今回、介護業界を選んだのは、人と関わる仕事をしてみたかったからです。前職ではモノと関わる仕事が多かったため、人とのつながりを感じられる仕事をしたかったのです。また、新しい経験をしたいという気持ちもありました。いろいろな施設の紹介を受けましたが、プロフィールからも温かい雰囲気が伝わり、立地条件も含めて働きやすそうだなと思い、ここみケアで働くことを決めました。

成長したこと 日本語でのコミュニケーション

人と話す機会が増えたため、以前より日本語が上達したと思います。ゲストが話している内容もわかるようになり、私が伝えたいことも伝わるようになってきました。仕事でやりがいを感じるのは、ゲストからの温かい言葉。介護しているときに、「ありがとう」と言ってもらえるとうれしい気持ちになります。

上司からの参考になったアドバイス

「1人で抱え込まないでね」

先輩から「キャストに何でも相談してね」と言っていただいたことが、印象に残っています。「支えてくれる人がある」と思えたことで、安心して仕事に取り組めるようになりました。以前、ゲストとのコミュニケーション方法について相談したことがあります。ゲストへの伝え方や話の内容など、教えていただいたことを少しずつ実践しているところです。

今後挑戦したいこと

日本語を勉強して、電話も対応できるようになります！

これからも日本にいたいと思って、さらに日本語を勉強して、仕事も頑張ります。挑戦したい業務は電話対応。そして、ゲストのご家族からの相談も受けられるようになりたいと考えています。日本文化のことも学びたいと思っていますので、ぜひ教えてください。これからもよろしくお願いいたします！



ルスタンティさんをよく知る上司の千葉さんからメッセージをいただきました！！



グループホーム
ここさいむら小田原
ちば ようこ
千葉 陽子さん

ルスタンティさんへ メッセージ

これからもいろいろなことを学び、経験して一緒に楽しく仕事をしていきましょう。

Q.ルスタンティさんに 期待することを教えてください！

業務に関してはしっかり行うことができ、安心して任せることができている。今後もっと日本の風習や文化も学んでいき、季節の行事などにも接客的に取り組んでもらえることを期待しています。新しいことにもチャレンジして楽しく仕事してもらえたら、嬉しく思います。

Q.入社当時と比べてルスタンティさんが 成長していると感じる点はどこでしょうか？

入社当時は言葉の壁もあり、自分からコミュニケーションを取っていくのが難しかったようです。今ではゲスト、キャストと良好な関係を築くことができている。現場では自分の考えもしっかり伝えてくれて、確実に成長している姿をととても嬉しく思います。



私たちががんばっています! 外国籍キャストの成長記録



グループホーム
ここさいむら小田原
ズイン マーニンさん
入社年月: 2022年7月18日

入社した経緯 日本語学校で介護の仕事我希望

外国に行きたい、外国の言葉を学びたいという気持ちがあり、いろいろな国を探していました。その際、日本へ行ったことがある友人の話を聞き、インターネットなどでもよいイメージを持っていたので、日本で働くことを決めました。こみケアへの就職は、通っていた日本語学校からの紹介がきっかけです。介護の仕事をしてみたいと思い、リクエストをしていたところ希望が叶い面接を受けることになりました。それまで面接を受けたことはなく、初めて受けた会社がこみケアだったのです。



成長したこと 日本語を使った意思疎通が上達

仕事を始めたばかりの頃は、先輩キャストやゲストと、日本語での会話が十分にできませんでした。1年ほど経ってから少しずつですがコミュニケーションが取れるようになったのです。今では会社だけでなく、外へ出かけたときでも日本の方と話ができるようになったことが成長した点です。



上司からの参考になったアドバイス 尊敬する3人の仕事ぶりが刺激に

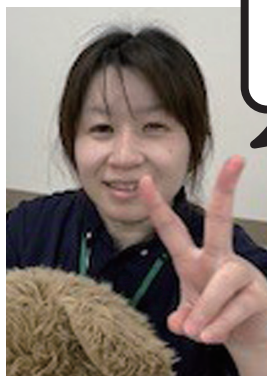
アドバイスではなく、上司の働く姿を見て、「自分もいつかはこうなりたい」と思うようになりました。上司の方たちは、毎日、一生懸命仕事をしますし、やるべきことはスピーディに終わらせます。そのような姿勢に刺激されて、自分も頑張ることができています。尊敬する上司は、坂本茂明管理者、千葉陽子さん、三浦まき子さんの3人。皆さん、教えるのが上手で、私のレベルに合わせてわかりやすい言葉で指導してくれます。

今後挑戦したいこと ゲストの症状を把握できるよう日本語力をアップ!

日本語がもっと上手になって、キャストやゲストとコミュニケーションが取れるようになりたいと思っています。特に、医師の先生がゲストの方を往診する際、先生の診断を正確に記録できるようになりたい。現在でも、日本語で記録しているのですが、専門的な言葉などは上司や先輩に聞かなければなりません。さらに日本語力のレベルアップをして、1人でゲストの症状を把握できるようになることが目標です。



＼ニンさんをよく知る上司の三浦さんからメッセージをいただきました!／



グループホーム
ここさいむら小田原
みうら まきこ
三浦 まき子さん

ニンさんへ
メッセージ

ニンさん、これからも一緒に成長していきましょう。
楽しい思い出をみんなでたくさん作りましょう!

Q. ニンさんに 期待することを教えてください!

ニンさんは頑張り屋さんなので、介護技術はバッチリですね!これからは技術に加えて知識もたくさん取り込んでいきましょう。お薬や往診対応に役に立つちょっとした医学知識も覚えていくと、往診対応もスムーズにこなせると思います。

Q. 入社当時と比べてニンさんが 成長していると感じる点はどこでしょうか?

慣れない環境で、初級試験も早い段階であり、はじめのころはドキドキすることが多かったのですが、今では頼もしいキャストに成長しましたね!「次にあれやらないとなあ」と思っていると「やっておいたよ」「終わっているよ」といった感じで、先回りして動いてくれるため、すごく時短になっています!安心して早急遅夜の業務をお任せできます。





Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア
社内報「Relation Gate Magazine」vol.8
2024年4月発行